

新しい、神殿

シリーズ～預言者の声～

2022/10/9

エゼキエル書

- 捕囚地で預言者に召された祭司
 - ヨヤキン王と共にバビロンに連れてこられ (BC598年)、そこで預言として召された(593年)
 - エルサレムの陥落／イスラエルの最後(586年)
- 3つの啓示方法
 - 超自然的な幻による(1,2,8,10,11,37,40-48章)
 - 言葉による:「主の言葉がわたしに臨んだ」(50回)
 - 象徴的動作による(3,4,5,12章など)
- 預言者的視点と祭司的視点の融合
 - 罪を厳しく糾弾する預言者の目
 - 神殿の墮落と回復を語る祭司の目

エゼキエル書40章1～4節

我々が捕囚になってから二十五年、都が破壊されてから十四年目、その年の初めの月の十日、まさにその日に、主の手がわたしに臨み、わたしをそこへ連れて行った。神の幻によって、わたしはイスラエルの地に伴われ、非常に高い山の上を下ろされた。その南側に都のように建設された物があった。主がわたしをそこへ連れて行くと、その姿が青銅のように輝いている一人の人が門の傍らに立っており、手には麻縄と測り竿を持っていた。その人はわたしに向かって言った。「人の子よ、自分の目で見、自分の耳で聞き、わたしがこれから示す、すべてのことを心に留めなさい。あなたがここに連れて来られたのは、それを示すためです。あなたが見ることを、すべてイスラエルの家に告げなさい。」

エゼキエル書40章1～4節

我々が捕囚になってから二十五年、都が破壊されてから十四年目、その年の初めの月の十日、まさにその日に、主の手がわたしに臨み、わたしをそこへ連れて行った。神の幻によって、わたしはイスラエルの地に伴われ、非常に高い山の上に下ろされた。その南側に都のように建設された物があった。主がわたしをそこへ連れて行くと、その姿が青銅のように輝いている一人の人が門の傍らに立っており、手には麻縄と測り竿を持っていた。その人はわたしに向かって言った。「人の子よ、自分の目で見、自分の耳で聞き、わたしがこれから示す、すべてのことを心に留め、ここに連れて来られたのは、それを見、あなたが見ることを、すべてイスラエルの家に告げなさい。」

1アンマ ≒ 52cm

詳細な神殿の説明(40~42章)

- 完全な正方形である
 - 500アンマ × 500アンマ(約260m)
- 外庭と内庭があり、それぞれに立派な3つの門がある
 - 出入りする人を厳格にチェックする
- 外壁の内側に30の部屋がある
 - 食事をするための部屋か
- 内庭の中に祭壇がある
- 3階建ての拝殿(至聖所)がある
 - 30の「脇間」がある(宝物を納める場所か?)



エゼキエル書43章1～4節

それから、彼はわたしを東の方に向いている門に導いた。見よ、イスラエルの神の栄光が、東の方から到来しつつあった。その音は大水のとどろきのようであり、大地はその栄光で輝いた。わたしが見た幻は、このような幻であった。それは彼が町を滅ぼすために来たとき、わたしが見た幻と同じであった。その幻は、わたしがケバル川の河畔で見た幻と同じであった。わたしはひれ伏した。主の栄光は、東の方に向いている門から神殿の中に入った。霊はわたしを引き上げ、内庭に導いた。**見よ、主の栄光が神殿を満たしていた。**

神殿に戻った主の栄光

- 一旦、神殿を去った主の栄光(10・11章)
 - 「ケルビムは翼を広げ、傍らの車輪と共に出て行くとき、わたしの目の前で地から上って行き、主の神殿の東の門の入り口で止まった。イスラエルの神の栄光は高くその上にあった。」10:19
- 出て行った時と同じ方角から
 - 「東の方に向いている門から神殿の中に入った」
- 本当の意味で神殿が復活した
 - 「霊はわたしを引き上げ、内庭に導いた。見よ、主の栄光が神殿を満たしていた。」

神殿にまつわる教え(43:10~46章)

- 祭壇の図面
- 献げ物(いけにえ)についての教え
- 神殿で使える祭司の規定
- 祭司たちのための土地
- 正しいはかりを用いること
- 安息日・祭りの規定

エゼキエル書47章1～12節

彼はわたしを神殿の入り口に連れ戻した。すると見よ、水が神殿の敷居の下から湧き上がって、東の方へ流れていた。神殿の正面は東に向いていた。水は祭壇の南側から出て神殿の南壁の下を流れていた。彼はわたしを北の門から外へ回らせ、東に向かう外の門に導いた。見よ、水は南壁から流れていた。その人は、手に測り縄を持って東の方に出て行き、一千アンマを測り、わたしに水の中を渡らせると、水はくるぶしまであった。更に一千アンマを測って、わたしに水を渡らせると、水は膝に達した。更に、一千アンマを測って、わたしに水を渡らせると、水は腰に達した。更に彼が一千アンマを測ると、もはや渡ることでできない川になり、水は増えて、泳がなければ渡ることでできない川になった。彼はわたしに、「人の子よ、見ましたか」と言って、わたしを川岸へ連れ戻した。

わたしが戻って来ると、川岸には、こちら側にもあちら側にも、非常に多くの木が生えていた。彼はわたしに言った。「これらの水は東の地域へ流れ、アラバに下り、海、すなわち汚れた海に入っていく。すると、その水はきれいになる。川が流れて行く所ではどこでも、群がるすべての生き物は生き返り、魚も非常に多くなる。この水が流れる所では、水がきれいになるからである。この川が流れる所では、すべてのものが生き返る。漁師たちは岸辺に立ち、エン・ゲディからエン・エグライムに至るまで、網を広げて干す所とする。そこの魚は、いろいろな種類に増え、大海の魚のように非常に多くなる。しかし、その沢と沼はきれいにならず、塩を取ることができない。川のほとり、その岸には、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が大きくなり、葉は枯れず、果実は絶えることなく、月ごとに実をつける。水が聖所から流れ出るからである。その果実は食用となり、葉は薬用となる。」



神殿から流れ出る水

- 神殿礼拝の再開に伴って流れ出す水
 - 祭壇の南側から出て東へ流れ出す
- 徐々に深く(豊かに)なる流れ
 - 千アンマ(約520m)毎に:くるぶし>膝>腰
 - 「泳がなければ渡ることのできない川に」
- 川岸に生える多くの実を結ぶ木々
 - あらゆる果樹が大きくなり、葉は枯れず、果実は絶えることなく
- 多くの生き物を育む
 - 「川が流れて行く所ではどこでも、群がるすべての生き物は生き返り、魚も非常に多くなる。」
 - 死海(エン・ゲディ)にも魚が群れる

キリストによるこの壮大な幻の成就

- 十字架によって終わった神殿の機能
 - 「すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。」マルコ15:38
- 完全な大祭司であり、完全な献げ物
 - 「神からメルキゼデクと同じような大祭司と呼ばれたのです。」ヘブライ5:10
 - 「御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖いを成し遂げられたのです。」9:12
- 教会が新しい神殿である
 - 「キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。」エフェソ2:21

命の水

- キリストは永遠の命の水を与えて下さる
 - 「イエスは答えて言われた。『この水を飲む者はだれでも、また渇きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。』」 ヨハネ福音書4:13-14
- 実は私たちからも命の水がわき出る！
 - 「あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。」コリント一3:16